

外郭団体評価調書【株式会社用】

1. 基本情報

平成25年7月1日現在

団体名	株式会社 まちづくり豊栄		
所在地	新潟市北区東栄町1丁目1番18号		
代表者(職・氏名) (所属・職)	代表取締役 金城道夫	電話番号	025-386-1212
	白新町1丁目自治会会長	ホームページ	http://www.toyosaka-tmo.com
市所管課	北区役所産業振興課	電子メール	tmo@icss.jp
基本財産 (基本金)	33,300 千円	設立年月日	平成15年7月30日
出資者	氏名・団体等名称	出資等額	出資等比率
	新潟市	16,650 千円	50.0 %
	一般株主(市民・企業)	16,650 千円	50.0 %
		千円	%
		千円	%
		千円	%
設立目的	事業者や市民、新潟市などの出資による第三セクター特定会社による事業推進により、中心市街地及びまちづくりの活性化を図る。		
経営理念 経営方針	まちづくりを通じて、地域の賑わいと安らぎをもたらす会社をめざす ・環境を大切にし、地域のくらしに貢献する企業を目指す ・社会的信頼・信用の高い企業		

2. 主要事業

事業名 ①			事業概要				
観光業務受託事業			観光協会管理運営業務, 観光PR事業及び特産品PR事業を行う。				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
—	—	収入額	千円	3,000	3,000		
活動指標・成果目標			単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
①会員の獲得	計画	実績	人	120	112	110	107
				110	108	106	
②PR事業	計画	実績	回	12	10	11	10
				9	7	8	

事業名 ②			事業概要				
TMO管理運営事業			中心市街地活性化事業の推進及び支援を行う。				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
—	—	収入額	千円	0	0	0	0
活動指標・成果目標			単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
①葛塚市の活性委員会開催	計画	実績	回	0	0	0	0
				0	3	0	
②個店支援	計画	実績	店	65	65	63	60
				63	60	60	

事業名 ③			事業概要				
ふれあいセンター管理運営業務受託事業			ふれあいセンターの受付け業務を行う。				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
—	—	収入額	千円	1,626	1,633	1,640	1,633
活動指標・成果目標			単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
①利用回数	計画	実績	回	2,600	2,830	2,750	2,800
				2,826	2,732	2,900	
②利用人数	計画	実績	人	36,900	36,500	33,730	39,000
				36,359	33,714	40,169	

事業名 ④			事業概要				
とよさかシール会業務受託事業			とよさかシール会業務受託事業				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
—	—	収入額	千円	240	240	180	0
活動指標・成果目標			単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
①運営委員会	計画	実績	回	10	10	10	0
				6	7	2	
②加盟店	計画	実績	店	95	90	85	50
				87	84	71	

事業名 ⑤			事業概要				
ヤマザキショップ豊栄駅店収益事業			ヤマザキショップ豊栄駅店の経営を行う。				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度(予算)
—	—	支出額	千円	29,256	27,732	27,587	28,126
活動指標・成果目標			単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
①Yショップ売上げ	計画	実績	千円	31,933	30,194	29,528	28,176
				29,604	28,122	27,356	

3. 組織等の状況

(1) 役職員数の状況

(単位：人)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
役員数	11	11	11	11
常勤	0	0	0	0
市派遣				
市職員〇B				
プロパー役員				
他団体からの派遣				
非常勤	11	11	11	11
市兼任				
市職員〇B				
他団体兼任	10	10	10	10
その他	1	1	1	1
職員数	10	14	14	15
常勤	1	1	1	1
市派遣				
市職員〇B				
プロパー職員	1	1	1	1
他団体からの派遣				
非常勤	9	13	13	14
市兼任				
市職員〇B				
他団体兼任				
その他臨時・嘱託等	9	13	13	14
見直し等の取組み				

(2) 職員の状況（市派遣職員を除く。）

(単位：人)

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
職員の状況	管理職	1	1	1	1
	一般職	9	13	13	14
	合計	10	14	14	15
年齢構成	20代以下	0		0	0
	30代	4	4	0	0
	40代	2	2	5	5
	50代	1	4	4	4
	60代以上	2	4	5	6
	合計	9	14	14	15

(3) 役員報酬・職員給与等の状況

(決算 単位：千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度予算
報酬・給与等	7,321	11,435	8,279	11,905
内 市職員分	0	0	0	0
役員	0	0	0	0
常勤				
内 市職員分				
非常勤				
内 市職員分				
職員	7,321	11,435	8,279	11,905
常勤	2,412	2,412	2,412	2,412
内 市職員分				
非常勤	4,909	9,023	5,867	9,493
内 市職員分				
平均年収（市職員を除く。）				
常勤役員				
常勤職員	2,412	2,412	2,412	2,412
見直し等の取り組み	ヤマザキショップ豊栄 駅店非常勤職員の新規 見習い日数の短縮	ヤマザキショップ豊栄 駅店非常勤職員とうど ん・そば屋(一片食)の 新規見習い日数の短 縮。うどん・そば屋(一 片食)の出面1名体制 の検討	うどん・そば屋(一片 食)は営業不振のため、 H24. 10. 31閉 店。 委託方式による「ラー メン屋・勝鬨屋」と契 約し、H25.4月に開 店した。	「道の駅豊栄」の管理 運営事業をH25.4.1 からスタート。新たに4 名を採用。

(4) 給与等の適正化の状況（市派遣職員を除く。）

現在の給与体系		今後の見直し予定	
●	団体独自の給与体系		有 予定時期 年度～
	市の給与体系を準用	●	無
	その他〔 〕		その他〔 〕

4. 財務の状況

(1) 損益計算書

(決算 単位：千円)

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	
経常損益	営業損益	営業収益(売上高)	38,611	38,599	36,076
		営業費用	38,781	46,013	38,925
		売上原価	25,160	25,757	24,072
		事業費	0		
		販売費・一般管理	13,621	20,256	14,853
	営業損益	▲ 170	▲ 7,414	▲ 2,849	
	営業外損益	営業外収益	213	34	12
		営業外費用	38	2	0
		営業外損益	175	32	12
	経常損益	5	▲ 7,382	▲ 2,837	
損特別	特別利益	5	5,936	0	
	特別損失	0	3,386	0	
	特別損益	5	2,550	0	
税引前当期損益		10	▲ 4,832	▲ 2,837	
法人税, 住民税及び事業税		190	184	181	
当期損益		▲ 180	▲ 5,016	▲ 3,018	
前期繰越損益		1,253	1,073	▲ 3,943	
当期未処分損益		1,073	▲ 3,943	▲ 6,961	
処利 分益	利益処分額	0	0	0	
	次期繰越損益	0	0	0	

(参考)

(決算 単位：千円)

(別掲)人件費	7,705	11,775	8,637
役員分	0	0	0
職員分	7,705	11,775	8,637

(2) 貸借対照表

(決算 単位：千円)

		平成22年度	平成23年度	平成24年度
資産の部	資産の部合計	38,571	32,883	28,779
	流動資産	26,905	26,681	24,245
	現金預金	23,537	24,604	22,020
	受取手形	0		
	未収金	1,908	807	807
	有価証券	0		
	その他流動資産	1,460	1,270	1,418
	固定資産	11,666	6,202	4,534
	有形固定資産	10,141	4,667	2,999
	無形固定資産	57	57	57
	その他投資等	1,468	1,478	1,478
	繰延資産	0		
	負債の部	負債の部合計	4,198	3,526
流動負債		2,743	3,162	2,440
短期借入金		0		0
その他流動負債		2,743	3,162	2,440
固定負債		1,455	364	0
長期借入金		0		0
その他固定負債	1,455	364	0	
純資産の部	純資産の部合計	34,373	29,357	26,339
	資本金	33,300	33,300	33,300
	法定準備金	0		
	剰余金	1,073	▲ 3,943	▲ 6,961
	うち当期末処分損益 (当期損益)	1,073 ▲ 180	▲ 3,943 ▲ 5,016	▲ 6,961 ▲ 3,018
負債の部及び純資産の部合計		38,571	32,883	28,779

(3) 市財政支出等の状況

(決算 単位：千円)

		平成22年度	平成23年度	平成24年度
市財政支出等の合計		3,842	1,633	1,640
補助金	補助金	0	0	0
	事業費補助金			
	運営費補助金			
	設備投資に係る補助金			
負担金				
交付金				
委託料	委託料	3,842	1,633	1,640
	内 随意契約額※	3,842	1,633	1,640
貸付金(期中借入額)				
出資・出捐金(追加額)				
その他				
貸付金残高				
損失補償契約に係る債務残高				
損失補償限度額				
その他財政援助の状況 (税や使用料の減免、建物の無償貸与等)				

※ 随意契約額とは、市との一者随意契約による委託料及び非公募による指定管理者料をいう。

(市財政支出等がある場合) 目的, 内容, 必要性, 増減理由等

- ふれあいセンター受付業務委託料
- ふれあい交流拠点調査業務(H20～H22)

5. 経営改善状況（評価指標）

※ 評価基準に満たない場合は、網掛けセルに太字斜字体が表示されます。

（1）財務の健全性

指標		平成22年度	平成23年度	平成24年度
経常損益		5 千円	▲ 7,382 千円	▲ 2,837 千円
当期損益		▲ 180 千円	▲ 5,016 千円	▲ 3,018 千円
自己資本比率	純資産	89.1 %	89.3 %	91.5 %
	純資産＋負債			
流動比率	流動資産	980.9 %	843.8 %	993.6 %
	流動負債			
固定長期適合率	固定資産	32.6 %	20.9 %	17.2 %
	固定負債＋純資産			
借入金依存度	借入金	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	資産の部合計			
剰余金（欠損金）	純資産 －資本金（基本金）	1,073 千円	▲ 3,943 千円	▲ 6,961 千円
資金運用	基本財産としての 有価証券の保有	有	→	① 運用方針を明文化し、それに従って運用している。
		無		② 資金運用利率は市場金利の水準を確保している。
				③ 資金運用に関する情報収集に努めている。
				④ 元本割れのリスクはない。

（2）団体の自立性

指標		平成22年度	平成23年度	平成24年度
市職員比率	常勤職員数（市職員）	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	常勤職員数			
財政的依存度	市財政支出	9.9 %	4.2 %	4.5 %
	経常収益			
運営費補助比率	市運営費補助金	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	経常収益			
随意契約比率	市随意契約額	100.0 %	100.0 %	100.0 %
	市委託料			

(3) 経営の効率性

指標		平成22年度	平成23年度	平成24年度
総資本経常利益率	経常利益	0.0 %	▲ 22.4 %	▲ 9.9 %
	資産の部合計			
売上高経常利益率	経常利益	0.0 %	▲ 19.1 %	▲ 7.9 %
	売上高			
総資本回転率	売上高	1.0	1.2	1.3
	資産の部合計			
職員1人当たり 売上高	売上高	3,861 千円	2,757 千円	2,577 千円
	職員数			
職員1人当たり 経常利益	経常利益	1 千円	▲ 527 千円	▲ 203 千円
	職員数			
売上高販管費比率	販売費及び一般管理費	35.3 %	52.5 %	41.2 %
	売上高			
職員1人当たり 管理費	販売費及び一般管理費	13,621 千円	20,256 千円	14,853 千円
	職員数			
人件費比率	人件費	20.0 %	30.5 %	23.9 %
	売上高			
役員人件費比率	役員人件費	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	人件費			

(4) 経営の適正性

① 中長期計画の策定状況	
● 有	計画名称〔ステップ・アップ2016〕 計画期間 平成21～平成28年度
概要・数値目標	
中期（平成21年度～平成23年度） 長期（平成24年度～平成28年度） <概要>・空き店舗活用による新規収益事業 ・賑わい創出 ・商品開発と販売システムの構築 <数値目標>・ヤマザキショップ豊栄駅店の初年度赤字の解消 ・ヤマザキショップ豊栄駅店の50万円以上黒字の維持 ・新規事業の初年度黒字 ・新規事業の2年目以降100万円以上黒字	
無	未策定理由〔 〕

② 経理の適正化の取組み			
専門家による監事・監査役就任		専門家による会計指導	
有	就任時期 年度～ 依頼先職種〔 〕	● 有	依頼時期 平成15年度～ 依頼先職種〔公認会計士(有)風間会計社〕
● 無			無

③ 事務処理改善の取組み	
● 有	取組内容 平成22年度～ 〔株式会社まちづくり豊栄事務専決規程〕
無	

④ 人材育成の取組み	
有	取組内容 年度～ 〔 〕
● 無	

⑤ 情報公開に関する規定の整備状況			
有	策定期間 平成 年度～ 規定名称〔 〕	団体ホームページ掲載	● 定款等 平成22年度～
			● 事業内容 平成19年度～
			● 役員名簿 平成19年度～
			役員報酬 年度～
● 無	未整備理由 規程を整備するほどの事業規模にないという判断でしなかったが、必要性を含めて検討する。		● 事業報告 平成19年度～
			損益計算書 年度～
			貸借対照表 年度～
			● 事業計画書 平成19年度～
		● 予算概要 平成22年度～	

6. 経営改善状況（個別の取組み）

(1) 前年度までの評価における【今後の取組み】の改善状況

今後の取組み					
地域全体の物流をつくる（ブランド化によるまちづくり，賑わい創出） （平成23年度評価においても，【今後の取組み】として設定）					
改善・対応区分		改善・対応済み	● 改善・対応中	検討中	実施しない
前年度の改善・対応内容		ブランド化によるまちづくりをまとめあげることはできなかったが、北宝隊、北区観光協会との連携により、バスツアーを支援。プレDCバスツアーも支援した。			
①	今後の改善・対応方針等	引き続き、ブランド化、物語（ストーリー）づくりを継続。中長期計画の前倒し見直しに組み入れて推進。			
	実施事項	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	年4回の検討会を実施	継続	継続	中長期計画を前倒しして見直し、計画に組み込む。	プランの推進
今後の改善・対応工程					

今後の取組み					
ヤマザキショップ豊栄駅店の黒字経営を維持する （平成23年度評価においても，【今後の取組み】として設定）					
改善・対応区分		改善・対応済み	● 改善・対応中	検討中	実施しない
前年度の改善・対応内容		Suicaの導入、売れ筋商品の発掘（麴入り塩納豆、トマト梅酒）、外販商品の販路拡大（会議用・イベント用飲料）			
②	今後の改善・対応方針等	売れ筋商品の発掘（商品の入れ替え）、外販商品の販路拡大			
	実施事項	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	売れ筋商品の発掘	継続	継続	継続	継続
今後の改善・対応工程	外販商品の販路拡大	継続	継続	継続	継続

今後の取組み					
中長期計画に掲げた事業毎に具体的なアクションプランを作成する。					
改善・対応区分		改善・対応済み	● 改善・対応中	検討中	実施しない
前年度の改善・対応内容		「うどん・そば屋」の閉店を受け、「道の駅豊栄」の見極めがつくまで、プラン作成を先延ばしした。			
③	今後の改善・対応方針等	「うどん・そば屋」の営業不振と「道の駅豊栄」管理営業事業の着手という大変革により、中長期計画そのものを再編せざるを得なくなった。			
	実施事項	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	中長期計画の前倒し見直し	「道の駅豊栄」の見極め	「道の駅豊栄」の見極め	中長期計画の前倒し見直し	計画の推進
今後の改善・対応工程					

今後の取組み					
新規収益事業の経営安定化を目指すとともに、採算が取れない場合の撤退時期の見極め					
改善・対応区分		● 改善・対応済み	改善・対応中	検討中	実施しない
前年度の改善・対応内容		「うどん・そば屋」の極度の営業不振により、平成24年10月31日閉店を決断した。			
④ 今後の改善・対応 工程	今後の改善・対応方針等	経済産業省の補助事業を維持しながら、委託契約方式による営業の継続			
	実施事項	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	経済産業省の補助事業の継続（委託契約）	継続	継続	継続 （委託契約期間 H28.3.31まで）	別途協議

(2) 前年度までの評価における【改善指示事項】の改善状況

今後の取組み					
中長期計画に掲げた事業毎に具体的なアクションプランを作成されたい。					
改善・対応区分		改善・対応済み	● 改善・対応中	検討中	実施しない
前年度の改善・対応内容	「うどん・そば屋」の閉店、「道の駅豊栄」事業着手等状況の変化に鑑み、アクションプランの作成を「道の駅豊栄」の見極めがつくまで先延ばしした。				
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等	「道の駅豊栄」の経営状態を見極めながら、中長期計画の前倒し見直しを実施する。			
	実施事項	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	中長期計画の前倒し見直しを実施	「道の駅豊栄」の経営状態を見極め	「道の駅豊栄」の経営状態を見極め	中長期計画の前倒し見直し	計画の推進

今後の取組み					
ブランド化によるまちづくり、賑い創出事業に関して、会社、行政、商工会、自治会等の関係機関とのネットワーク強化が必要である。					
改善・対応区分		改善・対応済み	● 改善・対応中	検討中	実施しない
前年度の改善・対応内容	ブランド化によるまちづくり、賑わい創出の成果は、十分ではないが、行政、商工会、自治会等関係機関とのネットワークづくりは、各イベント、行事、観光事業、特産物研究協議会、各自治協議会等その関係強化に努めた。				
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等	引き続き、その関係強化に努める。			
	実施事項	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	関係機関との関係強化	継続	継続	継続	継続

今後の取組み					
収支回復に向けて、ブランド化によるまちづくり、賑い創出事業を具体的なアクションプランを作成するとともに、早期に実施することが必要である。					
改善・対応区分		改善・対応済み	● 改善・対応中	検討中	実施しない
前年度の改善・対応内容	状況が大きく変化したのでアクションプランの作成を「道の駅豊栄」の見極めがつくまで先延ばしした。				
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等	「道の駅豊栄」の経営状態を見極めたうえで、中長期計画の前倒し見直しを実施する。			
	実施事項	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	中長期計画の前倒し見直し	「道の駅豊栄」の経営状態を見極め	「道の駅豊栄」の経営状態を見極め	中長期計画の前倒し見直し	計画の推進

今後の取組み						
<p>団体は本来豊栄地区のまちなか活性化を目的としたものであるが、近年の状況を見ると収支的にはヤマザキショップ豊栄駅店の収益に頼る部分が多く、活性化が実現されているのか疑問である。今後の団体のあり方についても検討が必要である。</p>						
改善・対応区分		改善・対応済み	● 改善・対応中	検討中	実施しない	
前年度の改善・対応内容		観光協会事務局、キテ・ミテ・キタク事務局、福島潟自然文化祭、阿賀野川ござれや花火、北区特産物研究協議会、豊栄商店会まつり、豊栄まつり及び豊栄大民謡流し等各実行委員会として活性化に貢献。				
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等	ヤマザキショップ豊栄駅店は安定はしているものの、大きな収益は望めないもので、「道の駅豊栄」「豊栄駅前時間貸駐車場」の収支を改善し、より強固なものにする。				
	工程	実施事項	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	「道の駅豊栄」収支改善	経費削減・協力会結成	売店経営・一部コンビニ化	イベントの実施	周辺開発	
	駐車場収支改善	サービス券販売による増収	継続	継続	継続	

7. 評価の結果

【団体の評価コメント】

財務の健全性	ヤマザキショップ豊栄駅店の初期投資分と「うどん・そば屋」の欠損が残っている状況ではあるが、「道の駅豊栄」の収支見込みでは、十分その穴埋めが可能な試算となっており、今年度の見極めが必要ではあるものの、十分健全性が維持できる状況にある。
団体の自立性	市からの出資50%はあるものの、補助金や職員の受け入れもなく、市財政支出4.5%のみというのは、自立性が低いとは言えない。しかし、あまりにも収益事業規模が脆弱であることも事実。新規の「道の駅豊栄」の試算では、十分それを払拭するに足る内容となっているので、今年度の成果を見極めたい。
経営の効率性・適正性	懸案であった「うどん・そば屋」は、平成24年10月31日をもって閉店を決断した。経済産業省の補助事業を維持しながら、委託契約方式による「ラーメン屋・勝鬨屋」をスタートさせた。欠損も最小限にとどめることができ、効率的且つ適正な判断だったといえる。「道の駅豊栄」についても、慎重且つ適切な判断をもって対処したい。
その他	ヤマザキショップ豊栄駅店は、残念ながら、消費税分が赤字計上となってしまったが、豊栄駅前時間貸駐車場は60万円の黒字計上であった。「道の駅豊栄」は、試算どおりに推移すれば、かなりの収益が見込めるので、その精度を高めていきたい。
総括的な所見	
会社事務所（豊栄ふれあいセンター）の明け渡しに伴い、同センターの管理業務受託料（160万円）が減収となり、さらに、事務所移転費用と新たな賃貸料（およそ60万円）が発生することになり、大きな負担となる。これらがすべて、「道の駅豊栄」の成否にかかってくることになるので、その運営に全力を注ぎたい。	

【所管課による評価】

現状に対する評価	空店舗解消や収益事業として取り組んだ「うどん・そば屋」の閉店は残念ではあるが、早期に方針変更したことは評価できる。今後は新規事業である「道の駅豊栄」の運営等を含め、経営の健全化を図る必要があると考える。
課題及び改善すべき事柄	新たに取り組んだ「道の駅豊栄」の管理営業について厳正な見極めをし、中長期計画の見直しを検討することが必要である。
今後の指導方針	新規収益事業が財政基盤の確立につながるよう、助言・指導を行うとともに、具体的なアクションプランについても検討作業を進めていく。

【今後の取組み】

①	地域の特色を活かしたブランド作り、特産品の販路拡大など、内外へアピールする事業の展開。
②	「ヤマザキショップ豊栄駅店」の経営、「道の駅豊栄」の運営等において増収を目指す。
③	「道の駅豊栄」の運営を見極め、中長期計画「ステップ・アップ2016」の見直しを含めた、アクションプラン作成の検討を行う
④	

【総合評価】

概ね良好	改善の余地がある	● 改善が必要	抜本的な対応が必要
総合的な所見			
<p>営業不振のうどん・そば店を撤退し、経済産業省の補助事業を維持しながら、委託契約方式のラーメン屋に切り替え、欠損を最小限にとどめることができたことは評価できる。 豊栄駅前駐車場の知名度アップ等に取り組み、同事業を黒字としたことは評価できる。 開業以来6年連続黒字の駅中売店（ヤマザキショップ豊栄駅店）が初の赤字決算になったことには、分析が必要である。 状況の変化により中長期計画そのものを再編せざるをえなくなり、アクションプランの作成が先延ばしになったため、継続課題である。 設立目的である豊栄地区のまちなか活性化に関して、十分な成果は得られていない。</p>			
今後の取り組みに対する評価、改善指示事項			
<p>中長期計画の見直しとアクションプラン作成に早急に取り組むことが必要である。 赤字決算となった駅中売店（ヤマザキショップ豊栄駅店）について、増収策と併せて、経費削減策を検討・実行する必要がある。 「道の駅豊栄」を活用した特産品の販売など、地域の特色をアピールする取り組みを強化することが望まれる。 本来のまちづくり会社としての役割が十分機能しているとは言えず、今後の事業展開のあり方を引き続き検討する必要がある。</p>			

【総合評価を受けての団体としての決意】

平成26年1月17日 代表取締役 金城 道夫
<p>中長期計画の見直しは、道の駅豊栄の初年度（H25年度）決算と売店経営（H26.4.1～）の決算（H26年度末）を見極める必要があり、うどん・そば屋の赤字解消見込みが立った時点で早急を実施していきます。ヤマザキショップ豊栄駅店については、原因がはっきりしているため、その対策を、可能なものから即実行していきます。道の駅豊栄の売店経営についてはH26.4.1引継ぎ後、地域特産品を中心とした品揃えに替えていきます。まちづくり会社としての本来の取り組みについては、累積赤字を解消し、運営資金の留保が見込める時点で、プランの中で進めていきます。</p>

【総合評価における改善指示事項への対応方針】

改善指示事項						
中長期計画の見直しとアクションプラン作成に早急に取り組むことが必要である。						
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等	H27年度末までに中長期計画の見直しと、アクションプランの作成を完了する。				
	工程	実施事項	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	中長期計画の見直し アクションプランの作成	検討	検討	作成	実施	

改善指示事項						
赤字決算となった駅中売店（ヤマザキショップ豊栄駅店）について、増収策と併せて、経費削減策を検討・実行する必要がある。						
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等	パート社員の見習い期間の短縮（人件費削減策）と 売れ筋商品の発掘（増収策）に取り組む。				
	工程	実施事項	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	見習い期間の短縮	検討（一部実施）	実施	継続	継続	
売れ筋商品の発掘	検討（一部実施）	実施	継続	継続		

改善指示事項					
「道の駅豊栄」を活用した特産品の販売など、地域の特色をアピールする取組みを強化することが望まれる。					
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等	H26.4.1売店経営の引継ぎ以降逐次地域特産品を中心とした品揃えに変更する。			
	実施事項	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	品揃えの変更	販売品目の検討	逐次実施	逐次実施	逐次実施
工程					

改善指示事項					
本来のまちづくり会社としての役割が十分機能しているとは言えず、今後の事業展開のあり方を引き続き検討する必要がある。					
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等	今後の新規事業について検討し、事業内容が決定したら逐次実施する。			
	実施事項	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	新規事業の実施	検討	検討	実施	実施
工程					